2005年6月11日

1

2

3

(4)

5

日本基督教団 西中国教区 定期総会

価 1部140円(本体133円**干**共200円) 1年分 **〒**共 紙代のみ 5,000円 3,500円 版 0140 9 145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい。 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546 会館内 電話 03(3202)0546 FAX03(3207)3918 E-mail:shimpoh-c@uccj.org 竹竹 発 行 人編集主筆 印 刷 所 前澤 知代志

株式会社きかんし

教会

幹

関

る

課

題

が

ĪΞĪ

(1)

2

3

4

5

(6)

7

(8)

9

(10)

国・東中国・東北・中部

韓基督教西部地方会会長、 師の開会礼拝説教を以って 〇中、堂山興治志筑教会牧 宋光教会を会場に正議員一 生きるいのちのつながりを 来賓として権寧國在日大 一名中一五九名が出席す ・年を経て再建された神戸 ~」とし、阪神大 震災後 提出議案の不受理」に対す る抗議が議場から多数出さ 他に教団総会関連として

|・二||三日両日、テーマを 「『支えあう教会』~福音を (回兵庫教区総会は五月二 修関東教区議長、鈴木伸治 宮田誉夫部落解放センター 教団議長が行った措置、対 総会選出議員不在で行われ て質疑が行われ、沖縄教区 た。特に教団問安使に対し 教団書記から挨拶を受け 運営委員会常任委員、三浦 応に対する疑義、「教区総会 た第3回教団総会に対して

同のとらえなおし』に関す 出された議案としては「『合 [福音を生き、神による平 る件」(十号) が審議され 教団総会での議論を受け

在の教団が抱える課題を分 されると共に、教団総会議 議長から総会の様子が報告 は、「第4回教団総会報告に かち合い、報告が承認され 区選出議員が答える形で現 員以外の人からの質問に教 関する件」(八号)において

外ではパネル展示等行われ 表明に関する件」(十一号) る中、「『災害に向かい合う』 宣教を担う兵庫教区の決意

一と「日本基督教団内に自然

和をつくりだす営みのため に~「合同のとらえなおし」 に関する兵庫教区決意表明 阪神淡路大震災から十年 を可決した。

被災教区である関東教区か 庫教区として新潟中越地震 を経て十一年目を迎える兵 ら教区議長を迎え、議場の

された。

かける件」(十二号)を可 災害被災者支援活動連絡会 (仮称)の立ち上 げを呼び

行した。

(車田誠治報)

認し、准允・按手式(准允

議論を経た上で同議案を承

・六名、按手・三名)を執

まで議論を継続した。その との意見が出され、二日目

性を問い直しつつ兵庫教区 スメント被害を訴える裁 判決をもって終了した「教 としての意見表明を可決し 判」を受け、私たちの日常 会でのセクシュアル・ハラ ね「被害者側全面勝訴」 においては、四月二二日概 ントに関する件」(十三号) 0

の始めから上程され二日目 する件」(七号) は一日目 会計不正流用問題報告に関 「クリスチャンセンター 承認

午後まで議論した後、 称)建設に関する件」(建 念公園』及び『記録館』(仮 建議としては「『子ども記

機感に基づく「戦争と平和」についての議論・決議であり、「セクシュアル・ハラスメント」の問題に

顕著な人権と教会の倫理であり、更に、聖餐式のあり方を問う論議がいよいよ表に出て来た。教会の根

幹に関わる、或いは根本から揺さぶる議論に発展しようとしている。

議案を可決

兵 庫

職制度、「合同のとらえなおし」、信仰告白、財政に加え、今年度各教区を横断する課題は、現実的な危前号に引き続き五教区の総会報告を掲載する。過去数年来、或いは数十年来の懸案であった事柄、教

「セクシュアル・ハラスメ

が議場で可決された。 要な働きに取り組む決意表 とか踏みとどまり可能で必 のへの恐れを表明し、いの 託され、「いのちを脅かすも 明」(建議二号)に関する件 ちを脅かすものの前になん 議一号)が常置委員会に付

に関する件」(六号)は、 また「准允・按手式執行 教 重する」とのいわゆる「第 聖礼典執行に関しては、諸 として対応が不十分である の理解に関して「補教師の 師検定試験の現状について 九号議案」を決議した教区 つつ、その教会の決定を尊 以降の歴史的経過を踏まえ また兵庫教区第二五回総会 教会の現実的実態に即し、

だが、初めて読むように新

み誤っていたのかも知れな 印象が違う。昔は主題を読 鮮だ。それどころか随分と

い。▼優れた童話には、多

だから紙数は多くない。話

年ぶりに読み返した。絵本 の絵本(福音館)を二〇数 り、やがて…。▼チムニク

過ぎる度に人数が膨れ上が

らはじまった行進は、新し

に叫び、歩き出したことか

のたいとたたきがこのよう

い町に入り、新しい土地を

の粗筋は憶えていたつもり



っとよいく

に、よいくら

し!」ひとり

逝去者記念礼拝。 今年は手話通訳も入れて

どこかに るはずだ も

▼ 「ゆとう、

採決の結果少数否決となっ るとの意見等が交わされ、 断し取り組むべきことであ 教会・伝道所が主体的に決 るが教区主導ではなく各個 との意見、趣旨には賛同す 共有を呼びかけていきたい 所にさらに積極的に課題の 数で可決。新たに「基地問 して推進する結果となっ ことへの取り組みを教区と えなおし」で問われている ることとなり、「合同のとら 題特別委員会」が設置され

問題特別委員会を設置

西中国

浦部頼子 (小郡)、島敞史 鈴木恭子(下関西) 久保田十一郎(広島船越)、 【教職】古賀博(山口信愛)、 【信徒】西澤宏(広島牛田)、

(東島勇人報)

ては常置委員会に付託され (宇部緑橋) 常置委員 との他建議案三件につい 一る。『ゆこう、どこかに』 い。豊かな作品は多様な解 は解釈の多様か、曲解か。 活』はメロドラマだ。これ 小説の扱いだったというと 日本に紹介された時は推理 も優れた作品とは言えな 者の誤解を許さない程に表 そ、何度でも読み返すこと 色合いを変える。だからこ 者の年齢や置かれた環境で とをどこかで読んだ。『復 分誤解も。▼『罪と罰』 が可能だ。著者の意図が読 様な解釈の余地がある。読 釈を豊かに生み出す。その ▼どこかでたいこの音がす に出ているものは、必ずし

松江イエスキリスト教会の皆さん

催された。開会時、正議員

口市の防長苑を会場に開

が行われた。議長に高橋敏

教区総会議長・副議長選挙

三六名中一一九名の出席

もゆる氏(廿日市)が再選 通氏 (下松)、副議長に柴田

議論が続けられた。

会に出席され、

一同で喜び

た。

を分かち合った。

が約四時間の道程を経て総

第二日目は逝去教師・信

議事終了後も場所を移して め、これに抗議がなされ、

(益田) が選任された。

夜には第3回教団総会報

来訪者より挨拶を受けた。 区問安使佃真人氏、教区内 徒記念式に始まり、兵庫教

推進のため、教区内教会・

ボーリング調査を中止させ

基地建設の白紙撤回および

のとらえなおしと実質化」

議員提案であった「『合同

であった「辺野古の米軍新

その後、同じく議員提案

伝道所が取り組みを進める

その後、由宇伝道所廃止、

件」は、議案中の「推進の

件」、「あらゆる米軍基地機 るために具体的に取り組む 総会が、五月十日~十一

会が、五月十日~十一日、第五四回西中国教区定期

二名の按手礼が執行され、

のような発言があったた

を承認。教団加入の件では、

同教会の教師・教会員九名

組織会、教区議長総括報告 山正道氏、教団問安使小林 に続き、関東教区問安使平 で総会は成立 第一日目は、開会礼拝、 告の時間を持ち、総会出席 され、書記には東島勇人氏

真教団副議長から挨拶を受 その後、三名の准允式と

教区の報告に歪曲があるか の四議員から報告を受けて

この際、教団問安使より 府中教会•神辺伝道所合併、

の名称は松江古志原教会) 教団加入(常議員会承認後 松江イエスキリスト教会の

(6)

(7)

論となった。各教会・伝道

文言の受けとめを巡って議 態度決定を目標に」という

地撤廃の取り組みを推進す 能の強化に反対し、米軍基

を審議の後に賛成多

(8)

(10)

1

2

3

(4)

5

(6)

僧島純雄議長 (郡山)

教区内の

教

れを無関係 ですが、そ のは良いの 持っている 各々違いを ・伝道所が 四八の教会

> 任教師が紹介された。 の時」が持たれ、新任・転

また、三浦修氏(関東教

高東北教正定期総会

東中国

1

2

3

(4)

(5)

(6)

顔の見える教区

吾二三**、** 二四の両 定期総会は 区第五四回 訴えた。 なるための対話の重要性を る」と、「顔の見える教区」と に放置しておくのではな お互い出会い、対話す

は、報告の 出席し、開 で七九人が 中、開会時 日、岡山教 宣教基本方 して、正議 針〉に触れ 中で〈教区 区総会議長 催された。 員九九人 会を会場に 宇野稔教 表明している以上、このま された。宇野氏が「辞意を め、一時議事が中断される 教会役員と協議をするた 中、再投票、決選投票を経 び、 までは受けられない」と、 の事情で辞意を表明する 挙で立てられた候補が諸処 幕もあった。 今総会では教区三役及 宇野氏 (岡山) が再選 常置委員選挙が行われ 副議長の急逝、予備選

にはト部康之氏(倉敷水島) (上井) が選出され、書記副議長には藤原寛人氏

された。 が、スライドショウで紹介 ら新潟中越地震の被害や教 会の働き、現在の状況など

が任じられた。

一日目の夕食時に「交流

区議長)、塚本潤一氏などか一ふり返って」と題して発題 教師から「二〇〇四年度を その後、教区内の四名の とされていたのは「平和」 と交流の時間が取られた。 る件」「『自衛隊をイラクか 改悪しないように国に求め 関する議案「教育基本法を と「護憲」であり、それに 今回の総会で大きな課題

左から藤原寛人副議長・宇野稔議長・ト部康之書記 時間が割かれ、提案理由に 論がなされた。 対して動議が出された上で める件」「憲法『改正』に 可決されるなど、活発な議 反対する件」などに多くの

クシュアル・ハラスメント れ、いずれも可決された。 する件」などが取り上げら のハンセン病療養所入所者 をなくすための取り組みを して、教団内で起こったセ に対する補償問題」「性差別 また、「日本基督教団に対

委員会、『性差別問題』委員

会を継続しないこと」

の決

追悼会、隠退教師感謝会に

二日目は、逝去教師記念

道として愛知西地区・桃花

台伝道所を指定し、取り組

んでいる。この支援を、な

始まり、四名の准允式と一

議(二月常置委員会)に関

して、質問と意見が活発に

名の按手礼式が執行され、

お五か年、延長することを

共に主の恵みを分かち合う

可決した。

一、年金対策金に関して

取り交わされた。

議案だけが出されているこ 議場からは「社会派的な に入った。

され、二つの委員会を再度

の議案である。

に報告すべきは、

次の二つ

特に宣教実施目標案以外

一、再建伝道費と開拓伝道

実施目標(案)」の場でもな

設置して、この課題に取り

組んで欲しいという趣旨の

の議案「二〇〇五年度宣教

また、この議論は二日目

事ができた。

ら撤退させるよう』国に求

決された。 の加害牧師に対して戒規を 議案が常置委員会付託で可 適用する件」等二件の緊急

のは何故か」との意見も出 る」「教会の信徒の思いと乖 とについての疑問を感じ 離しているのではないか」 一教区で伝道が語られない

の出席で総会は成立し、仮 催された。開会礼拝の後、 名古屋中央教会を会場に開 が、一野一七日、一八日、 正議員二〇二名中一八二名 執行順序が承認され、議事 第五五回中部教区総会

された。

その他にも「旧植民地下

で、「『靖国・天皇制』問題 置委員選挙であった。 置委員会報告、各部各委員 会報告、教区三役選挙、常 特に常置委員会報告の中 日目の主な議事は、常

され、原案通り可決された。

の結果、この修正案は否決

道として福井地区・丸岡教

現在、教区による再建伝

修正案が出されたが、論議

四%減の予算が承認され

の挨拶を読み上げた。挨拶 が問安使として訪れ、議長 う表記について議場から質 文中の「正しい聖餐」とい 問があり、鈴木書記は「正 教団からは鈴木伸治書記 開拓伝道

た。これについては、議場 である。」との見解を示し

が持たれた。

井しのぶ(高梁)、難波幸矢

【信徒】牧野卓哉(倉吉)、土

【教職】草地大作(境港)、宮

(辻順子報)

からさらに反論が行われ

餐』と『補教師による執行』

しい聖餐とは『未受洗者陪

二日目の午後に逝去者記

﨑達雄 (倉敷)、八束潤一

(米子)、宮川経宣(岡山信

教会·伝道所経常収入総計円(二〇〇三年度教区内諸

が行われない、ということ

夫牧師を記念するひととき 任中に天に召された由井哲 念礼拝が守られ、副議長在

(8)

9

(10)

会・伝道所よりの謝恩日献 金として捧げる議案が、常 発な議論が交わされたが、 置委員会より出された。 の〇・五%)を教区内諸教 原案どおり可決された。 選挙結果は以下の通り。

【副議長】高橋潤(中京) 【書記】加藤幹夫 (阿漕) 【議長】楠本史郎 (若草)、

中部

【教職】武田真治(金城)、横 常置委員

(富山二番町)、井ノ川勝山良樹 (半田)、小宮山剛 子(鈴鹿) 釜土達雄 (七尾)、滝口洋 屋北)、須藤茂明(華陽)、 (山田)、渡部和使(名古

金に関する議案が可決され 年度の年金対策金四〇七万 00万円、および二00五 なかったが、中部教区はこ 〇〇四年度の年金対策金四 の問題を重く受けとめ、二 先の教団総会において年 咋)、本弘禮子 (津)、阿部 之(各務原) 美男 (名古屋北)、中村友 篠田優(熱田)、川原潤(羽 【信徒】 大杉弘 (若草)、

(加藤幹夫報)



按手礼式

第六〇回東北教区総会は 副議長には高橋和人氏 に新しい地区形成に取り組

東北

された。開会時、出席正議 名の按手礼式、四名の准允 員は一七七名中一二四名。 葉荘教会、東北教区センタ 「エマオ」を会場に開催 **青二四~二三日、仙台青** 開会礼拝・聖餐式後、一 選出された。

教団問安使との活発な質疑応答

式が執行された。続いて教 われ、工藤正剛氏を専任館 区センター館長就任式が行 教区四役選挙が行われ、 が再 なされ、困難な中で意欲的 編成による地区報告が順次 主体の教会互助体制となっ 革が行われ、地区再編と宣 て一年を経過した。新地区 教共働会計設立による地区

新氏(福島伊達)を書記に 正副議長の推薦により宮崎 長に小西望氏(仙台北)が 選任した。また宣教部委員 (仙台東六番丁)を選出、 前総会決議により機構改

て前年度から十年を目途と む姿勢が語られた。関連し く「東北教区ハンドブック」 目指す。その中で共有すべ の宣教力を高めゆくことを 帯性を深めると共に各教会 教区・地区の共同体性と連 活動内容を充実深化させ、 反省を活かし、それぞれの なった。二年目は前年度の 画が位置づけられるように 定され、その中に単年度計 する長期宣教基本方針が策 区負担金は、前年度より四・

あることが指摘された。教 た。教区センター「エマオ」 記載方法に意見が出され 動連帯配分資金の未収金の 教区活動連帯資金と教区活 等の混乱が指摘され、また 機構改革過渡期による科目 製作状況報告がなされた。 と「祈りのカレンダー」の 入金返済を開始したが、経 については、教区からの借 教区歳入歳出決算では、

教団と沖縄教区との関係の た。各教会が前年度より減 スメントに対する対応等、 団議長による挨拶がなさ なかったとの認識による。 議案が十分な取扱いを受け 致で可決された。第3回日 る件」が提案され、満場一 特設委員会』再設置を求め 改善、セクシュアル・ハラ れ、聖礼典理解をめぐって、 本基督教団総会に提出した たび『日本基督教団性差別 ものである。 収していることを配慮した また建議案として、「ふた 教団問安使・山北宣久教

より、震災復興十年の経過 町)、遠藤道雄(福島伊達) 岡謁也(猪苗代) 番丁)、柴田彰(川谷)、 報告がなされた。 【信徒】志藤仁一(山形本 【教職】酒井薫 (仙台北) 常置委員

(山都) (松本のぞみ報

9

(8)

10

2005年6月11日

ぼしていることを痛感している。 件が宣教の働きに大きな影響を及 道という地域の社会的・歴史的条

とりわけ北海教区においては北海

どこの教区でもそうだろうが、

北 海

久世そらち

会は、炭鉱の町に建てられた。か つての繁華街は、今、ぼうぼうの

の信徒の「町が栄えた時には牧師

もやってきて伝道し、自分たちを

う形で閉鎖された。その教会出身

た頃にできた教会が「合併」とい

別の町では、かつて林業で栄え

キリスト者にした。そして苦しく

現在は活動休止しているある教

ために

教会が立ち続ける

の抱えるさまざまな矛盾の処理場

としても利用され続けてきた。

(3)

られる歴史を繰り返し、

また日本

やっぱり去っていくのか? 屋もここを捨てて去った。教会も

(1)

2

(3)

4

5

6

(7)

8

(10)

祈りを合わせ会を閉じた。

就(主)大門義和

る資源と市場を日本に提供し、そ 農産物など時代ごとに必要とされ

なり病院も学校も消え、店も飲み 石炭が不要になると、線路が無く

> ちを捨てない」という信頼を得る 北海道の地で「でも教会は自分た

まで教会が立ち続けることのため

に、

北海教区の努力はある。

(北海教区総会副議長)

してそれらが不要とされると捨て

置づけられてきたこの豊かな広い

水産・鉱物・石炭・木材・

そして教会もやってきた。しかし

屋も医者も来て、 画館も居酒屋も床

「去らない」ことかもしれない。

伝道を始めるよりも難しいのは

明治以来、内国植民地として位

教区

き役場ができ、映 は、ことに駅がで 炭が必要なとき 草地と化した。石

ぶやきを聞いたことがある。

いていかれた」と、憤りに近いつ なると教会は去り、自分たちは置 予算決算委員会。2006年度予算立案に取り組む

いて秋葉・クレーマー・睦

ルリン日本語教会は、昨年

氏に贈った。秋葉氏は、「ま

だ未熟ではあるが、日独双

った。

四月七日教団会議室にお

付けで派遣され、一時帰国

なたと共にいる」パウロに

宣 教

師

派

語りかけた主の言葉を秋葉

中に派遣式が持たれた。ベ

教

われた。

会書記の説教により執り行 長の司式、木下宣世同委員 溥世界宣教協力委員会委員 子氏の宣教師派遣式が大宮

等を担当してきた。

派遣式では木下書記が

い」と抱負を語った。 リンで宣教の業に励みた 方の教会の協力の下でベル

任し、その後秋葉氏が集会

三月末に相賀昇宣教師が退

教会(ドイツ)に四月一日

黙っているな。

わたしがあ

は、東海林勤氏を会長とし

式後もたれた茶話会で

ている。

て後接会が立ち上がったこ

「恐れるな。

秋葉氏はベルリン日本語

寸

程が諮られた後、

(1)

3

5

 $(\mathbf{6})$

(7)

の検討を行なった。

(10)

2 2

算委員会は五月九日・十日 第3総会期第二回予算決 度予算立案基本方針協議 二〇〇四年度決算の概要報 総幹事より、挨拶を兼ねて

第二回

飯塚拓也委員長より議事 竹前昇一細な報告があり、 幹事より同決算について詳 続いて計良祐時財務担当 一同は長

の両日教団会議室で開催さ

告があった。

科目全般について確認し、

字決算となったのは、教団 繰入が消滅し、収支差額三 員会に諮る事となった。 財政としては大きな前進で 決算案を承認し、次回常議 八〇万円の剰余金を生む黒 出版局繰入金と運営資金 一する事が提案され、 財務状況報告書の書式を統 議の議事内容を協議、教区 日・二〇日の日程および会 について検討し、九月一九 次に全国財務委員長会議

時間の協議を行ない、収支 | ある。監査については、六 予算決算委員会 われる予定である。 月一五日・一六日の両日行 て検討を行なった。 フ対策のルール作成につい 関の選定、金銭管理につい 現状の教団本会計の金融機 て確認する必要と、ペイオ

負担金について検討し、二 のではなく、収入総額から のように支出から検討する 案するにあたっては、従来 予算規模を検討することと し、収入の基礎である教区 れていた問題点を、検討 協議を行なった。

種々協議を行なった。 予算を立てる手順について および1%減の場合につい て、予算を考えることとし、 00五年度と同額の場合、 討し、予算編成内容の把握、 次に予算管理について検

管理の担当部門、予算決算

ついては、かねてから出さ 年度報告C表の見直しに

ペイオフ対策については 一〇〇六年度の予算を立

予算の提案時期等について

委員会としての管理、補正

り、一同で協議を行なった。 た委員より案の説明があ

て、計良財務担当幹事より、 さらに継続して検討するこ のないよう協議を行ない、 定の基礎であり、教区負担 とになった。 金算定が公平性を欠くこと C表の数値は教区負担金算 日本基督教団会計監査基 おわりに監査基準につい

同の理解を深めた。 準について説明があり一 (池田浩二報)

修了後、同年四月代々木中

辞(兼担)鐵口宗久

辞(代)戸井雄二

辞(主)中村 辞(主)中村 暉

部教会に赴任。二〇〇一年

牧師を務め隠退した。遺族

辞(主)内山 就(主)内山 成(主)内山

広島南部

辞(主)内藤智基

就(主)清田勝成

| 万まで四三年間、同教会

東京都に生まれる。一九五

四月三日、逝去。七二歳

八年、東京神学大学大学院

遣 式

依田駿作氏(横浜本郷台伝

会津高田 辞(主)渡辺利彦

就(代)多勢 眞 辞(担)溝部為子

就(代)石田龍三

は妻の多嘉子さん。

財政的基盤整備が必要

内容

とが報告された。後援会の 呼びかけ人の方々が参加 の宣教師を全世界に派遣し 会は秋葉氏を含めて二五名 秋葉氏を支える気持ちを語 現在、世界宣教協力委員 派遣先の日本人教

道所牧師) 四月一三日、逝

辞(主)柳本秀良

//

就(主)渡辺利彦 辞(主)佐藤吉春

大阪福島辞(主)広瀬規代志

就(主)柳本秀良 辞(主)堤 健生

担って支えられている宣教 会等が、全ての財政責任を る。このシステムが現在も も支えられ、定期的に報告 くの宣教師を迎えてきた。 書を提出し、報告会のため 信仰的にも、また財政的に 教会を各自の教区に持ち、 彼らは各々五〇以上の支援 の教会は、全世界に多数の 大変よく機能している欧米 に定期的に一時帰国してい

ベルリン日本語教会に秋葉宣教師派遣 と思われる。 的基盤を整える必要がある り、宣教師の信仰的・財政 宣教師を派遣している。 なることが期待されてい 教師、日独教会の架け橋と 派遣される現在二人目の宣 秋葉氏は、ヨーロッパに 教団も宣教師派遣にあた 秋葉宣教師のベルリ

ユーカリが丘

就(主)奥村直彦辞(担)奥村直彦

残念ながら、この募金は年 募金を募っている。しかし 主日の世界宣教の日に全国 んでいる。委員会は宣教師 毎に減少する傾向にある。 が不安定な中で、宣教に励 多くの宣教師は財政的基盤 師はそれほど多くはない。 支援を目的として十月第一

教団は欧米の教会から多 教会、横浜上原教会牧師を 札幌教会赴任。その後、光 去。七八歳。東京都に生ま れる。一九五二年、日本基 は妻の康子さん。 歴任後、九三年より横浜市 督教神学専門学校卒業後、 所を開設し牧会した。遺族 本郷台で開拓伝道を開始 し、九六年横浜本郷台伝道

如鷲 " 教師異動 務

局報

辞(主)平野 就(代)森

正宙宙論

ンでの働きが祝されるよう 登美丘 鑫 茅ヶ崎恵泉辞(主)大門義和 大阪西野田辞(主)中島 // 就(担)塚本洋子就(主)井上 理 辞(代)森田喜之 辞(主)安村喜行 就(主)井上 就(代)并上良作

就(主)植西光雄辞(担)植西光雄

辞(担)八木かおり

就(主)阿部克男

辞(主)庄司宜充

就(主)庄司宜充

大沼田實氏(隠退牧師) 消息



辞(代)牧村元太郎

就(主)西岡

辞(主)三矢 亮

鎌倉雪ノ下辞(担)瀬谷

就(主)坂元 高 就(主)竹島 敏 就(主)竹島 敏 就(主)瀬谷 寛 隆(代)保科 隆

辞(主)佐藤孝義

北九州復興就(担)湯浅佳成 福岡渡辺通

名古屋新生辞(主)眞山光彌

辞(主)竹島

就(主)川崎一路辞(代)岡口文明

"

就(主)

8







西宮一麦 辞(主)森

彬

//

辞(担)森 佐久子

就(主)広瀬規代志

"

辞(主)樋口 進 就(主)堤 健生

指宿

さいまいした。備品も申し出によ

り、それらの行事を

しきたりを良く守

土・日曜日によく行

し、主は立派な教会を与えてくだ

の必要なものをご存知なのかな り与えられ、主は「私たちの教会

われます。

ぁ」と思えることもなさいました。

信徒伝道者として赴任した教師

今では正教師の資格も与えら

もこれから先も、ず

し、私たちの主は今 っていました。しか

(1)

2

3

(4)

5

(6)

7

8

献堂式をすることができました。

二〇〇二年六月三十日に就任式

の伝道は大変だと思

右記のような中で

ました。 全国からの 「 尊い献金」 **導きと助け」を信じて立ち上がり**

> 働いている方が目に む暇もなく畑に出て

く、土・日曜日は休

農家が多 職業は兼業 中学校も歩いて十分くら

は町の中心地に属し、小・

いのところにあります。

「励ましのお祈りとお言葉」は、

いなる助けとなりました。そし

寺が多く、昔からの 寺地区には神社・お 付きます。ここ法勝 教区のご指導と、私たちも「主の 出発となった教会でしたが、地区・

区道のともしび

小さな群れの歩み

西伯法勝寺教会牧師

町となり、人口も一万四 昨年十月に合併して南部 西端で、隣は島根県です。

人となりました。教会

麻生

張り始めたところです。

地理的には鳥取県の最

物」を最大に生かして頑

皆で「知恵」

や「賜

す。このような群れです 師を含めて四~六名で

教

「二〇〇四年度の行事報告」に初

(1)

2

(3)

(4)

5

(6)

7

(8)

9

(10)

っと働き続けてくださいます。

私どもがこの地に赴任して五年目 障害者手帳を持っているとは思え の年でした。私は七二歳、四級の 書くことができました。それは、 ないくらい、元気に奔走させても めて教会学校の行事を「四回」と らっています。 二〇〇〇年の鳥取西部地震の時

やっとでした。また、信徒の家屋 も被害を受け、みんなで途方にく の長かった教会は「半壊」となり、 れる日々が続きました。 零からの は震源地も近く、築四〇年、無牧 礼拝」と「祈祷会」を守るのが

は先ずことに、いつまでも教会が 名、四十代一名、三十代三名です。 子供たちです。ご高齢で寝たきり 存続するために、信仰の継承を考 くださったことに対して、私たち 求道者二名、教会学校には五年生 現在の現住陪餐会員は十名で、九 え行動しようと話し始めました。 一歳児一名が、よく来てくださる 一名、一年生三名、保育園児一名、 代二名、七十代一名、五十代三 ない方、礼拝出席は、牧 の方、仕事の都合上来れ

きたいと考えています。「わたしは とりあって歩んで行きたいと思っ を掲げ、主に導かれつつ皆で手を 福音を恥としない」のみ言葉の旗 ています。 今年は六回の教会学校行事を開

全国教会婦人

うにお祈りさせていただきます。 すように主の御助けがありますよ 震の被害に遭われた皆さんの上に る方々の上に祝福を、風水害・地 にあって支えてくださっておられ この場をお借りしまして、全国 一日も早い復旧の道が開かれま

2003 年クリスマス祝会でもたれた家族礼拝。幼児と共に

が大切に思われ、憐れみをかけて いただき感謝しています。 れ交換講壇にも積極的に行かせて しかし、この小さな群れをも主

師にしよう」と言われた。二人は すぐに従った。』とありますよう 弟子は「漁師」でした。『「わたし と思います。イエスさまの最初の 任務を忠実に果たされたからこそ 音を伝えてくださったことは、 めに祈り、愛し、犠牲を払って福 さんの宣教師が来られ、日本のた ています。あの鎖国開放後、たく めに建てられた西伯法勝寺教会で に、私たちも歩んで行きたいと思 について来なさい。人間をとる漁 あることを、もう一度思わせられ の地域の方が一人でも救われるた に勇気と熱心、主の弟子としての

会連合 ◎主催 ◎主題 「明日の教会 をつくろう」 のためにネットワーク 荘(御殿場) ◎場所 YMCA東山 ください。 (月)~二七日(水)

路子牧師(蒲原教会)、 宣教師(教団)、西之園 協力委員会・教育委員 ◎協賛 教団世界宣教 ◎協力 C・ゼブリー

相賀昇牧師(田園都築 泊七食)、交通費各自 日本約二〇名 伝道所) ◎参加費 一万円(1 ◎人数 ドイツ七名、 ◎問合せ 全国教会婦 ◎締切 六月十三日 3203-4258) 会連合(Ⅲ•₩03−

ンペーン/時=6月25日 込聖公会聖バルナバ教会 単・矢来出口徒歩3分/プ (土) 14時~7時/所=牛 xともに生き、ともに働く (新宿区矢来町65)/ 交通 地下鉄東西線神楽坂駅下 第3回就職差別撤廃キャ 六四頁・九五〇円

ま تنا

「日独教会青年合同リ ースミッション2005

◎日時 七月二五日 若者たちを送り出して に開催いたします トリート」を次のよう 明日の教会に仕える

地区、時=7月2日(土) ★ハンセン病を正しく理解 東地区、時=7月2日(土) 回復の証言」-ハンセン病 する講演会2005「人間 絡先費06-6418-5 712-3845、 関西連 師―玉城しげさん/主催― スト教会西宮中央教会、講 14時~7時、所=日本キリ 回復者の闘いと祈り/⑴関 社団法人好善社☎03−3 スト教団柿ノ木坂教会、講 14時~17時、所=日本キリ 430 (長尾) 帥―神美知宏さん/2関西

出版局ニュース

http://www.bp.uccj.or.jp

★新刊から

の大切さを訴える。A5判 点や大日本帝国憲法との相 国憲法と皇室典範との矛盾 うとする動きがある。日本 る』〈今村嗣夫=著〉今、日 違点を指摘し、日本国憲法 本では、憲法を「改正」し て、戦争の出来る国にしよ 『象徴天皇制と人権を考え

ある。

垣二一・岸本和世=訳〉四 六判·111四頁·11000円 る現代社会と牧会者』〈H・ ★重版から 『傷ついた癒し人-苦悩す 仰生活を始めることであると答え 質問は、何よりも教会に行き、信 て等の質問がある。牧師への道の について、キリスト教全般につい にが、教誨を受ける皆さんにとっ

キリスト教協議会部落差別 の証言、3崔善愛さんのピ 問題委員会503-320 校での就職差別をなくす取口グラム=11「荒川商業高 3-0372 (担当木谷ま りくんで」 在校生&卒業生 り組み」22「就職差別にと アノ&トーク/主催―日本

の中。盲人がいるのが普通の生 の全国修養会に遊びに行ったの を持ち、献身した。在学中に主 活だった。 三〇歳を過ぎて信仰 が最初だった。住まいも盲学校 る。全盲の父に連れられて、夏 会の関わりは、小学生時代に遡 阿佐光也さんと盲人伝道協議

談に乗る」ことのウェイトは大

きい。「教会でこんなことがあっ

育や教会生活のケアを行ってい 会が本来担うべき仕事、信仰教 る」 という。 日本の視覚障害者 フーの援助を受け、盲人キリス 學されてきた。 戦後、ヘレン・ケ 現在、盲人伝道協議会は「教 信仰会、NCC、日本基督教団 盲人キリスト者達に先 された」と、

を持って下さるとなあ」経済的

な問題や後継者問題。 課題が山

各個教会がこういう活動に興味 のおかげ。でも本当はもう少し、 様のみ旨と、支えて下さる方々

「ここまで続いてきたのは神

積みである。

る場を提供し の協議によって りや晴眼者との相互理解を深め 名。文書伝道 が成立、現在維持会員は四五〇 働くというより、その確固たる 仰は強烈だった。盲人のために 教育も盲人キリスト者に担われ 募金活動を行った。盲人の信仰 る。新共同訳聖書も聖書協会と 体験。自分自身の信仰が豊かに 合同の点字出版委員会を作り、 の手で発行し 聖書に関しては盲人達が自分達 信仰に触れられたことがすごい てきたのである。「その人達の信 現在、阿佐さんの仕事で「相 阿佐さんは語る。 てきた。特に旧約 たという歴史もあ 一盲人伝道協議会 盲人同士の交わ

3

を作成して、相互理解を深

める努力をしている。「誰かがや

対応すればいいか」電話だけで

会に視覚障害者が来たが、どう

た」「教会を紹介してほしい」「教

なく、「視覚障害者理解の手引

を今、盲伝が担っている。

らなければならないこと」。それ

るだろう」ではなく「誰かがや

緒に活動する気持ちだった。

る。視覚障害者の伝道に関わる 事として盲伝で働くようにな

というより、仲間と再会し、

阿佐光也さん

自分の信仰が豊かに された



1947年岡山生まれ。盲人伝道協議 会主事。日本基督教団 新泉教会 牧師

刑務所で教誨を行っているときで したらよいですか」と聞かれた。 月に一度、刑務所に出かけ、キ 「先生、牧師さんになるにはどう くお話しができるようにしてい て、そんなに牧師の姿がよいので る。服役中私語は禁じられている し、ましてや歌などうたえない。

しみふかき

を読むひとときを持っている。ま リスト教を希望する皆さんと聖書

ず三〇分間は聖書を輪読し、簡単

懇談の時としている。読んだ聖書 な説明を行う。その後の三〇分は 月末に出所します。今まで良いお 復帰し、主の道 話をありがとうございました」と な声で歌うよう 讃美歌は間違えても良いから大き 丁寧に礼を述べ を歩むことを祈る。 、る人もいる。社会 に促している。「今

あろうか。教誨の時間ではなるべるが、神父、宮司、牧師の他はみ リスト教の光を消さないようにし な僧侶である。刑務所におけるキ たい。キリスト教の教誨を心待ち 絡しあい、研修をしている。教誨 は、約九〇人の教誨師がいる。連 にしている人のためにも。教団に この刑務所は十人の教誨師がい

たと言い、泣き続ける女性の服役 歌に全身を向けているのであっ 者は、「いつくしみふかき」の讃美 師の働きを覚えたい。 自分の赤ちゃんを殺してしまっ

教団総会書記 鈴木伸治)

(10)